

令和5年度 小池（1004022）浸水想定マップ

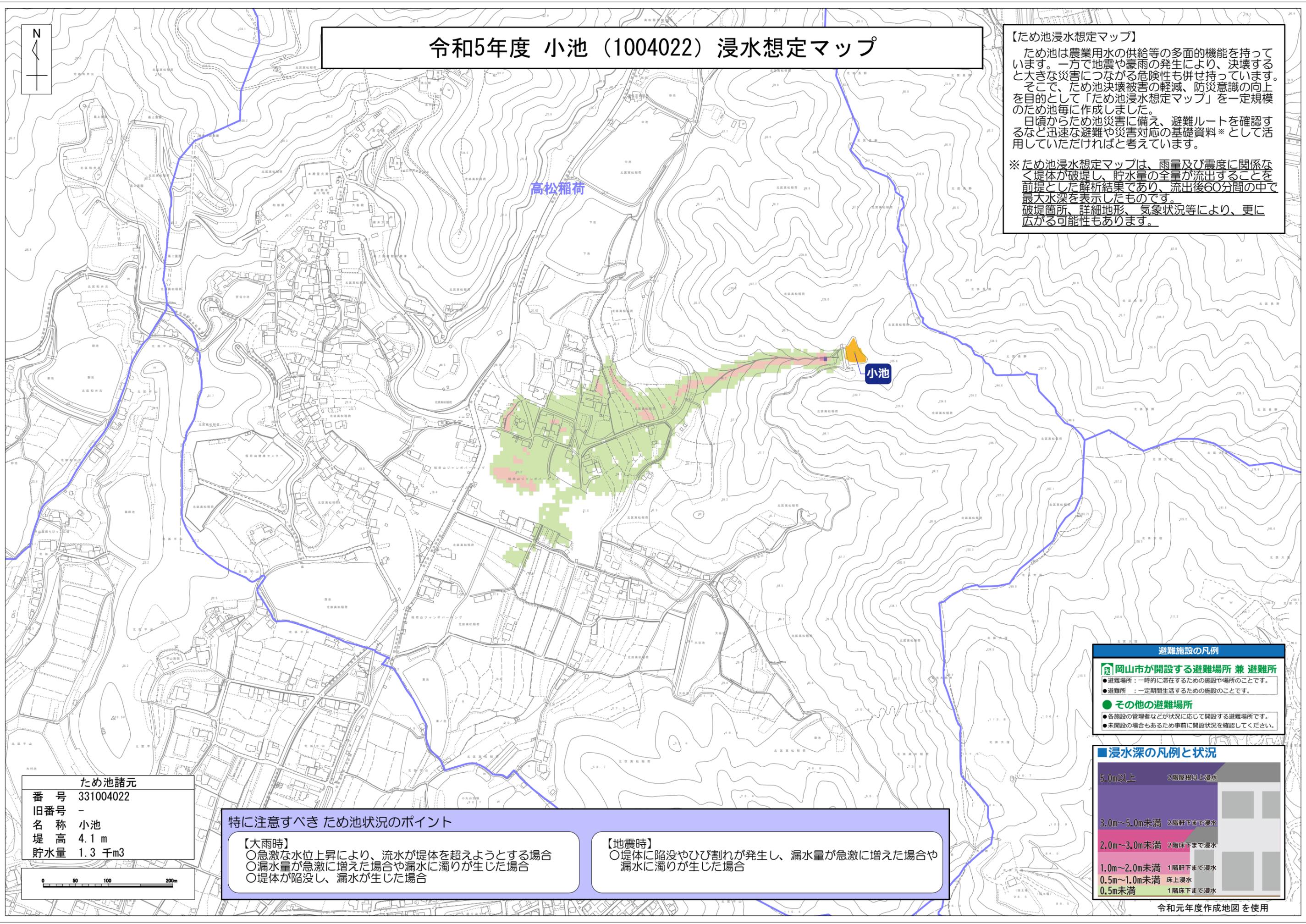
【ため池浸水想定マップ】

ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。

日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。

破壊箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元
 番号 331004022
 旧番号 -
 名称 小池
 堤高 4.1 m
 貯水量 1.3 km³

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例

岡山市が開設する避難場所兼避難所

- 避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。
- 避難所：一定期間生活するための施設のことです。

その他の避難場所

- 各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。
- 未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況

| | |
|-------------|----------|
| 5.0m以上 | 2階層以上浸水 |
| 3.0m～5.0m未満 | 2階軒下まで浸水 |
| 2.0m～3.0m未満 | 2階床下まで浸水 |
| 1.0m～2.0m未満 | 1階軒下まで浸水 |
| 0.5m～1.0m未満 | 床上浸水 |
| 0.5m未満 | 1階床下まで浸水 |